

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【公開番号】特開 2011-45862 (P2011-45862A)

【公開日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-010

【出願番号】特願 2009-198854 (P2009-198854)

【国際特許分類】

B 0 1 F 17/52 (2006.01)

C 0 8 F 20/00 (2006.01)

C 0 8 L 33/00 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 F 17/52

C 0 8 F 20/00

C 0 8 L 33/00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 27 日 (2012.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

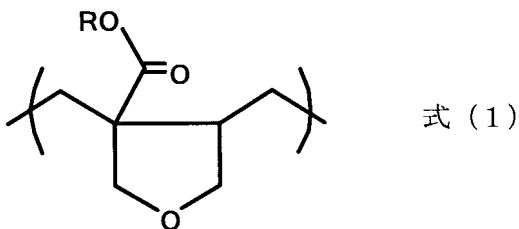
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (1) ;

【化 1】



(式中、R は水素原子、または炭素数が 1 ~ 30 の有機基を表す。) で表される繰り返し単位を有する環構造含有重合体によって構成されることを特徴とする高分子分散剤。

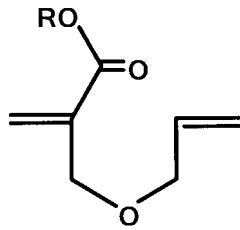
【請求項 2】

前記高分子分散剤における前記式 (1) で表される繰り返し単位の含有割合は、高分子分散剤 100 質量 % 中に 2 ~ 90 質量 % であることを特徴とする請求項 1 に記載の高分子分散剤。

【請求項 3】

前記環構造含有重合体は、下記式 (2) ;

【化 2】



式 (2)

(式中、Rは水素原子、または炭素数が1～30の有機基を表す。)で表される単量体を含む単量体成分を環化重合する工程を含む製造方法により製造されることを特徴とする請求項1又は2に記載の高分子分散剤。

【請求項4】

微粉状固体、高分子分散剤、及び、分散媒を含む微粉状固体分散組成物であって、該高分子分散剤は、請求項1から3のいずれかに記載の高分子分散剤であることを特徴とする微粉状固体分散組成物。

【請求項5】

前記微粉状固体は、顔料であることを特徴とする請求項4に記載の微粉状固体分散組成物。